

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第266回

メンタリスト DaiGo

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和3年8月9日

編集委員：入試広報室 鈴木

今回の言葉

期待からくるプレッシャーは、
成長の原動力。人間は無意識に
期待に応えようとする性質が
あるので、期待されることで
自分の限界を超えることができる。



DaiGo は、日本のメンタリスト、作家、ニコ生主、YouTuber。企業の研修やコンサルなども行う。静岡県静岡市清水区生まれ、千葉県市川市育ち。身長は174cm。血液型はB型。弟が3人おり、末弟は東京大学謎解き制作集団 AnotherVision 元代表の松丸亮吾。

Column

素晴らしい知識を持ち、クールなイメージの DaiGo さんですから、「これは名言でもなんでもなく、ただ人間の性質を説明しただけ」と言いそうな感じですが、人それぞれ得意・不得意がありますので『自分にはできない…』とってしまうことも、『人間にはみんなその力が備わっているのです!』と言われると『自分にも力があるんだ!』と自分に自信や期待を持つことができます。今回はそんな“背中を押してくれる”言葉だと感じました。

結果云々は抜きにして、『仲間や家族の期待に応えたいから頑張ろう!』と決意した瞬間は誰もが経験したことがあると思います。“決意”という言葉や、このように文章にして書いてみると重たくも感じます。そして、失敗を恐れる気持ちが難しいと感じさせてしまうこともあります。これまでに私もそんな“プレッシャー”に押しつぶされてしまった経験があります。今となっては悔しい出来事ですが、その当時は“こんなにも大変で難しくてプレッシャーを感じることなんて私に頼む方が間違いだ…”と感じていたことを覚えています。今回の言葉を知ることで当時のことを思い出した瞬間、気づいたことがあります。それは、『期待に応えようとする性質と同時にプレッシャーを感じることも性質なのだ』ということです。実力の有無に関係なくプレッシャーは誰もが感じるものなのです。そして、実力は経験を重ねることによって養われていきます。できるかどうか自信が持てなくても、自分の限界を超えた要求をされていると感じたとしても、期待されているということは、その人から見た自分はそれをクリアできる実力があると評価してくれているからではないでしょうか。自分のことは意外と自分以外の方が詳しい時があります。そういう意味では自分の限界とは、まだ見たことのない領域なのかもしれません。自分で自分に驚く瞬間を是非味わいたいものですね。